

横須賀美術館の初年度運営状況について

— 平成19年度【開館（4/28）～3月31日】集計報告 —



撮影：大橋富夫氏

横須賀美術館 YOKOSUKA
MUSEUM OF ART

教育委員会 美術館 美術館運営課 H20.6.12

目次

【数値集計に基づく事項】

	頁数
I- 1 基本数値	1-[1]
I- 2 基本データ（観覧者関連）	1-[2]
I- 3 基本データ（駐車場関連）	2-[3]
II- 1 月別・車種別駐車場利用状況	3-[5]
II- 2 駐車場利用状況の内訳（通年）	3-[6]
II- 3 来館者・観覧者数の月別推移	4-[7]
II- 4 観覧者有料・無料比率	4-[8]
II- 5 観覧者の詳細	5-[9]
II- 6 有料チケット比率〔企画展・所蔵品展比率〕	5-[10]
III- 1 図書室利用状況	6-[11]
III- 2 図書室時間帯別利用状況	6-[12]
III- 3 来館者の時間帯別比率	7-[13]
III- 4 時間帯別来館者数の状況	7-[14]
III- 5 曜日別観覧者数等の状況（1日平均）	8-[15]
III- 6 曜日別観覧者数等の状況（通年）	8-[16]
III- 7 企画展別観覧者数・目標達成率等の状況	9-[17]
III- 8 展覧会観覧者の延べ人数での集計	9-[18]
III- 9 団体の状況	10-[19]

頁数

III- 10 パスポート券・前売券の状況	10-[20]
IV- 1 教育普及事業の状況	11-[21]
IV- 2 教育普及事業の状況（学校連携）	11-[22]
IV- 3 教育普及事業の状況	12-[23]
（ワークショップ）	

【アンケート集計に基づく事項】

V- 1 来館者の居住地域	13-[25]
V- 2 交流都市推進に関する推計	13-[26]
V- 3 来館回数・リピート率等の状況	14-[27]
V- 4 来館者の属性（性別）	14-[28]
V- 5 来館者の属性（年齢層）	15-[29]
V- 6 来館者の交通手段	15-[30]
V- 7 来館者の美術館認知手段	16-[31]
（広報媒体）	
V- 8 取材等による広報実績	16-[32]
V- 9 附帯施設の感想	17-[33]
V- 10 企画展の感想	17-[34]
V- 11 所蔵品展の感想	18-[35]
V- 12 その他（アンケート自由記載欄の傾向）	18-[36]
【参考】開館前内覧会・オープン式典等の状況	19-[37]
レストラン・ショップの利用状況	19-[38]

I-1 基本数値

- 1 来館者数（館を訪れた人数） … 386,175人
- 2 観覧者数（展示を観覧した人数） … 165,961人
- 3 観覧料収入 … 73,105,250円
- 4 年度目標及び達成率
 - (1) 観覧者 年間目標数 : 105,000人
達成率 : 158.06% (165,961÷105,000)
 - (2) 観覧料収入 年間目標（歳入予定）額 : 41,131,000円 * 1
達成率（当初比） : 177.74% (73,105,250÷41,131,000)
 - (3) 駐車場収入 年間目標
 - ①（歳入予定）額 : 12,675,000円
実績 : 13,289,100円 達成率 : 104.84% (13,289,100÷12,675,000)
 - ② 駐車台数 : 38,000台（普通車のみでの想定、二輪・大型を除く）
実績 : 44,049台 * 2 達成率 : 115.92% (44,049÷38,000)
- 5 その他
 - (1) 開館後日数 : 339日（休館日を除く実開館日数 : 322日）
 - (2) 休館日数 : 17日（5月～3月各月1日＋年末年始6日）
 - (3) 観覧者10万人達成日 : H19.10.2（開館後158日目）

* 1:平成20年第1回定例会において7千万円に増額補正を実施

* 2:二輪車・バス等を含めた駐車台数は45,424台

1

I-2 基本データ(観覧者関連)

1 観覧者数等の実績データ

月	開館日数 (休館日を除く)	来館者	観覧者	観覧者内訳		観覧料 収入	月別1日平均	
				観覧者 (有料)	観覧者 (無料)		来館者	観覧者
4月	3	14,496	6,231	4,468	1,763	3,403,960	4,832	2,077
5月	30	54,205	23,750	19,078	4,672	13,537,500	1,807	792
6月	29	35,528	16,081	13,027	3,054	8,777,320	1,225	555
7月	30	29,885	12,805	9,229	3,576	5,797,390	996	427
8月	30	52,489	21,366	16,269	5,097	11,728,130	1,750	712
9月	29	45,764	19,598	14,409	5,189	7,958,330	1,578	676
10月	30	36,213	15,847	13,253	2,594	7,745,770	1,207	528
11月	29	37,366	17,827	10,347	7,480	5,103,810	1,288	615
12月	27	18,224	7,155	5,528	1,627	2,631,290	675	265
1月	27	20,334	9,402	4,972	4,430	1,295,180	753	348
2月	28	18,642	6,917	4,205	2,712	1,848,640	666	247
3月	30	23,029	8,982	7,526	1,456	3,277,930	768	299
全合計	322	386,175	165,961	122,311	43,650	73,105,250		
1日平均		1,199	515	380	136	227,035		

※平均:小数点以下四捨五入

2 観覧者数等の個別データ(各企画展予測及び実績)

展覧会名称	観覧者予測 (人)	観覧料予測 (円)	観覧者数 (実績)	観覧料収入 (実績)	達成率		参考 (観覧料)
					観覧者数	観覧料	
生きる展	50,000	20,631,000	53,520	29,981,670	107.04%	145.32%	900
ウォリス展	20,000	9,000,000	40,502	19,814,290	202.51%	220.16%	900
滋澤龍彦展	10,000	4,000,000	24,784	10,201,880	247.84%	255.05%	800
清宮質文展	10,000	3,500,000	8,824	3,738,180	88.24%	106.81%	700
公募展横須賀	5,000	0	8,110	0	162.20%	-	無料
若林奮展	10,000	4,000,000	9,452	3,633,700	94.52%	90.84%	800
計	105,000	41,131,000	145,192	67,369,720	138.28%	163.79%	-

※観覧者数は企画展のみ(上記以外に所蔵品展のみの観覧者あり)

* 観覧料は一般料金

2

I-3 基本データ（駐車場関連）

3 駐車場予測データの算出方法

- ①観覧者予測10万人のうち、自家用車で来る館を75%と想定 = 75,000人
- ②自家用車1台あたり2.5人が乗車していると想定 : $75,000 \div 2.5 = 30,000$ 台
- ③3万台中、1.5万台が1.5時間駐車、7.5千台が2時間駐車、7.5千台が2.5時間駐車と想定 = 7,875千円
・条例により観覧者は1時間減免(障害者等の場合は全額減免)
- ④8千台を観覧者外と想定し、2時間駐車と想定 = 4,800千円
- ⑤③+④ = 12,675千円

4 駐車場の実績データ

月	日数	台数 (A) + (D) + (E)	利用料	(A) 購買 台数	精算内容			(D) 全額 減免	(E) 無料 時間内 出庫*1	二輪車				バス				全合計		
					(B) 全額 負担 (減免なし)	入金額1	(C) 減免 あり (1H減)			入金額2	台数	利用料	全額 減免台数	二輪計	台数	利用料	全額 減免台数	バス計	台数	利用料
4月	31	1,247	462,600	1,017	319	195,300	698	287,300	210	20	7	1,400	22	29	0	0	0	0	1,276	464,000
5月	31	6,373	1,866,300	4,469	1,264	767,300	3,205	1,099,000	1,694	208	39	7,800	175	214	8	12,000	1	9	6,598	1,886,100
6月	30	4,211	1,190,100	2,876	852	457,850	2,024	732,150	1,211	124	14	2,800	96	110	23	34,500	12	35	4,356	1,227,400
7月	31	3,527	896,750	2,375	798	437,400	1,577	559,350	1,040	112	7	1,400	63	70	10	15,000	26	38	3,633	1,013,150
8月	31	6,242	2,298,150	4,728	1,626	1,114,050	3,102	1,184,100	1,329	165	19	3,800	125	144	8	12,000	13	21	6,407	2,313,950
9月	30	5,279	1,450,350	3,555	1,129	505,050	2,426	945,300	1,595	129	7	1,400	100	107	18	27,000	10	28	5,414	1,478,750
10月	31	3,807	1,181,600	2,710	967	427,050	1,743	784,550	939	158	6	1,200	87	93	30	45,000	22	52	3,952	1,237,800
11月	30	3,322	836,800	2,237	677	298,650	1,560	638,250	971	114	5	1,000	109	114	44	66,000	20	64	3,500	1,003,900
12月	31	2,016	560,550	1,254	547	250,800	707	309,750	702	60	4	800	46	50	11	16,500	10	21	2,087	577,850
1月	31	3,091	647,550	1,538	606	263,850	952	383,700	1,456	77	3	600	34	37	9	13,500	1	10	3,138	661,650
2月	29	2,202	554,400	1,287	539	218,450	748	336,150	857	58	7	1,400	31	38	8	12,000	5	13	2,253	567,800
3月	31	2,732	822,150	1,752	915	393,900	837	428,250	895	85	8	1,600	45	53	22	33,000	5	27	2,812	856,750
全合計	339	44,049	12,977,400	29,818	10,239	5,329,550	19,579	7,647,850	12,901	1,330	126	25,200	933	1,059	191	286,500	129	316	45,424	13,289,100

* (E) : 入庫後5分以内に出库した車両

5 その他(元日の状況)

- ①駐車場は年中無休
- ②県立公園内の他の駐車場に合わせ、元日午前3時～8時まで駐車場を無料開放(広報等で周知)

場所	3時		3時30分		4時		4時30分		5時		5時30分		6時		6時30分		7時		7時30分		8時		合計	
	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出
屋内	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	16	0	81	0	5	0	0	84	0	21	106	105
ロータリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	21	0	4	25	25
計	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	16	0	81	0	30	0	0	105	0	25	131	130

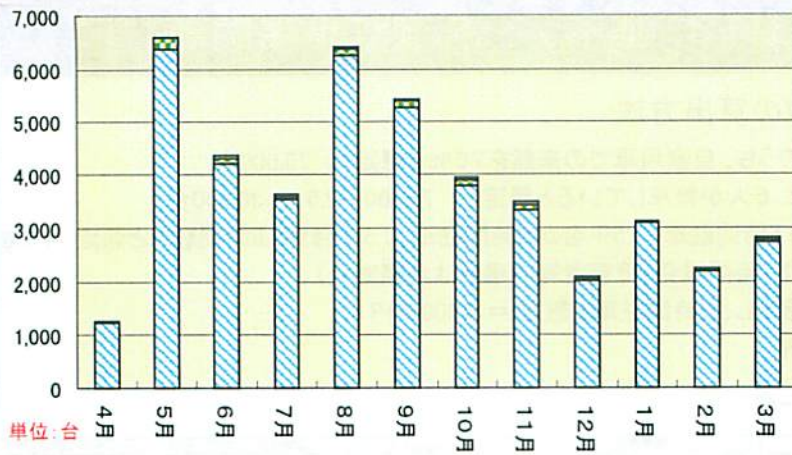
3

【余白頁】

4

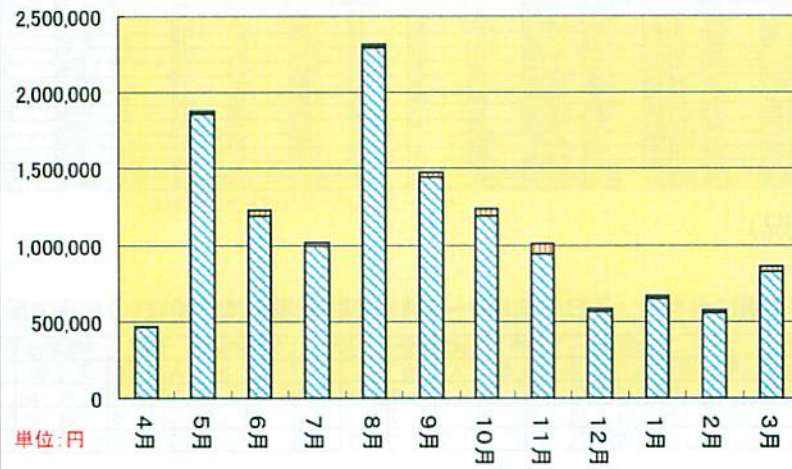
Ⅱ-1 月別・車種別 駐車場利用状況

① 台数



単位: 台

② 利用料

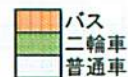


単位: 円

台数合計 : 45,424台

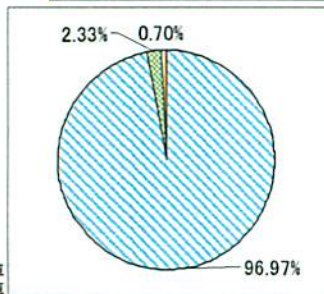
【内訳】

- A. 普通車 : 44,049台
 ・観覧者 : 33,810台
 ・観覧者外 : 10,239台
 B. 二輪車 : 1,059台
 ・観覧者 : 933台
 ・観覧者外 : 126台
 C. バス等 : 316台
 ・有料 : 191台
 ・無料 : 125台

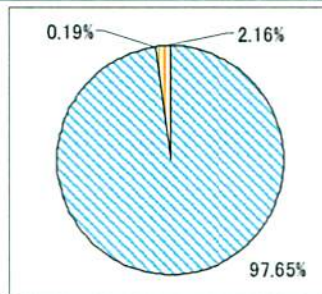


5

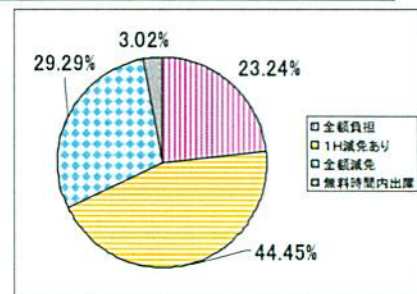
Ⅱ-2 駐車場利用状況の内訳(通年)



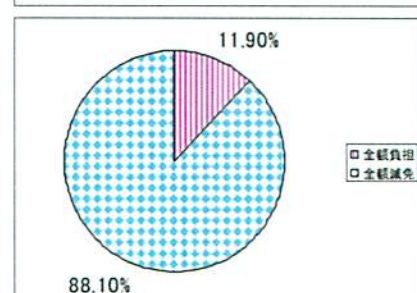
① 台数比率



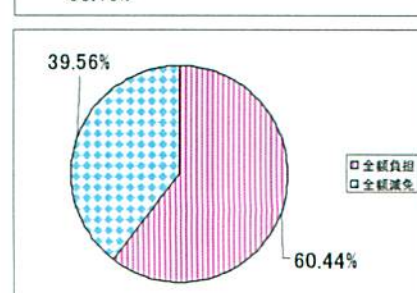
② 利用料比率



③ 普通車負担種別



④ 二輪車負担種別



⑤ バス負担種別

6

【傾向】

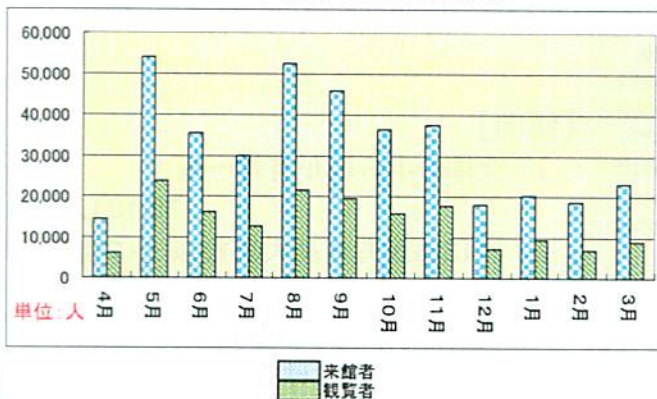
- 台数も利用料もほとんどが普通車
- 平均駐車時間
 - ・全額自己負担(観覧減免のない車両): 1.74時間≒1時間44分
 - ・1時間減免あり車両(観覧者車両): 2.30時間≒2時間18分
- 負担種別より推定される美術館観覧率
 - ・普通車: 73.74% ・二輪車: 88.10% ・バス: 100%

参考: 条例等に基づく駐車料金

- 普通車 : 300円/時間+150円/30分
 ただし、展示観覧した場合は、1時間分無料
 - 二輪車 : 200円/回
 ただし展示観覧した場合は、全額無料
 - バス(大型車): 1,500円/回
- ※障害者搭乗車、障害者介助者車両、福祉施設車両、小中学校等の団体車両、等は車種に関わらず全額無料

Ⅱ-3 来館者・観覧者数の月別推移

① 来館者・観覧者数月別推移



【傾向】

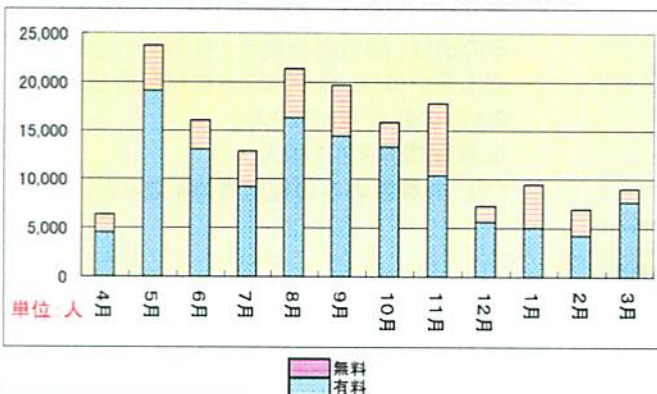
5月、8月、9月が堅調

i. 5月は開館直後の影響と思われる

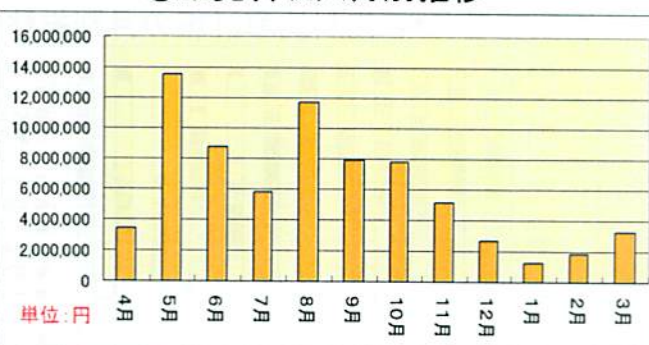
ii. 8月は旧盆と夏休みが影響

iii. 11月は文化の日(無料観覧日)が影響

② 観覧者数(有料・無料)月別推移



③ 観覧料収入月別推移

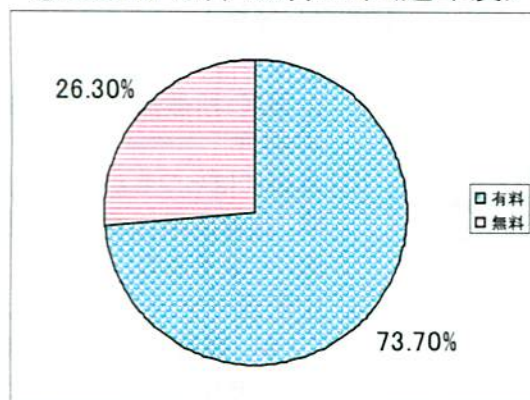


* 1月開催の公募展は無料

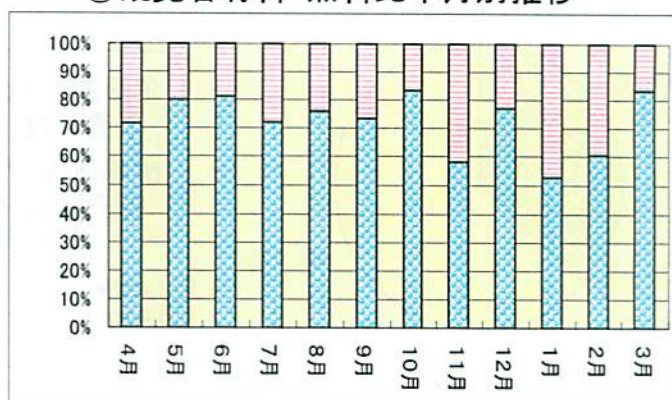
7

Ⅱ-4 観覧者有料・無料比率

① 観覧者有料・無料比率(通年度)



② 観覧者有料・無料比率月別推移



【傾向】

i. 通年度での有料・無料比率は概ね、3:1

ii. 11/3(文化の日)、2/17(市制記念日直近の日曜日)は条例に基づく無料観覧日であり、6,329人の観覧者を得た。1月の公募展は無料(8,110人が観覧*)

iii. ゴールデンウィークや夏休み期間、祝日の多い4、7、8、9月は、無料観覧者率が高い

参考: 条例等に基づく無料者

① 中学生以下の観覧者

② 市内在住・在学の高校生

③ 障がいのある方及びその付き添い者(障害者1名につき1名まで)

④ 学校等の職員が児童・生徒を引率する場合

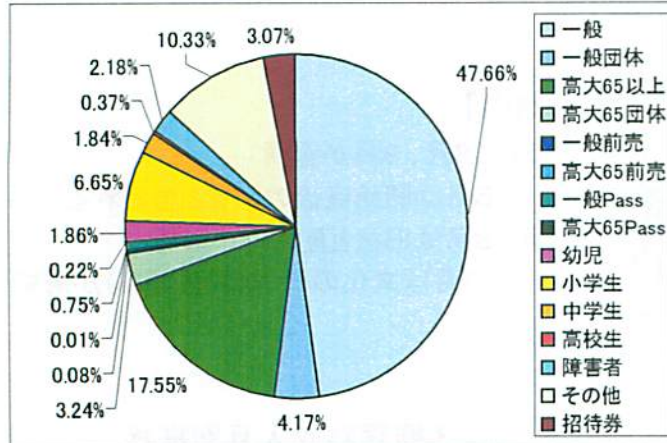
⑤ その他(視察、市主催事業関連等、教育委員会が特に必要と認める場合)

* : 8,110人中、3,854人は有料の所蔵品展も観覧しているため、有料でカウント

8

Ⅱ-5 観覧者の詳細

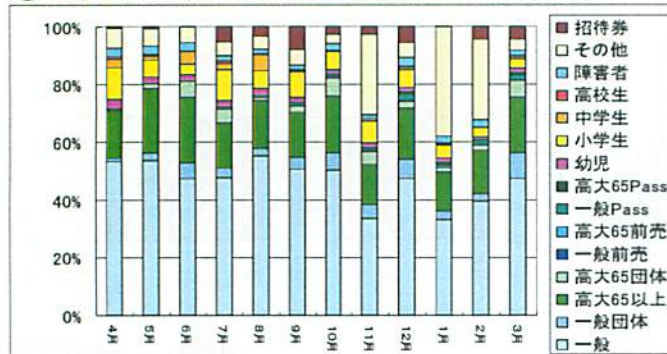
①観覧者有料・無料比率の詳細(通年度)



【傾向】

- i. 全体の半分弱が有料一般
:79,104人
- ii. 約18%が有料高大65歳以上(2番目)
:29,129人
- iii. 約7%が小学生(4番目):11,038人
- iv. 中学生・障害者は各2%前後
中学生:3,048人 障害者:3,610人
- v. その他(3番目)は約10%:17,142人
・その他は、障害者介助者、視察等を含むが最も多いのは、条例による無料開放日(11/3、2/17)の観覧者6,329人と
公募展観覧者8,110人
(内、公募展のみの観覧者は4,256人)

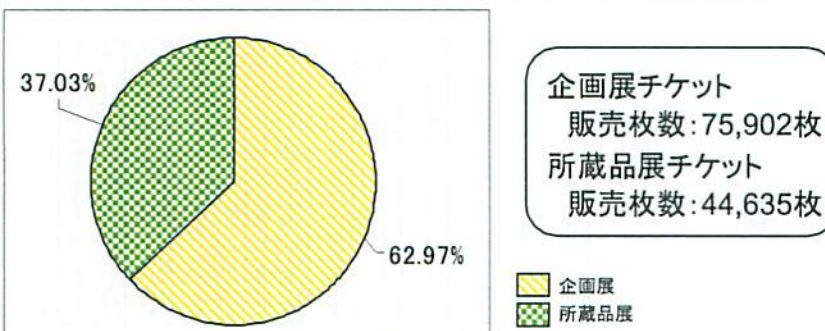
②観覧者有料・無料比率詳細の月別推移



9

Ⅱ-6 有料チケット比率〔企画展・所蔵品展(常設展)比率〕

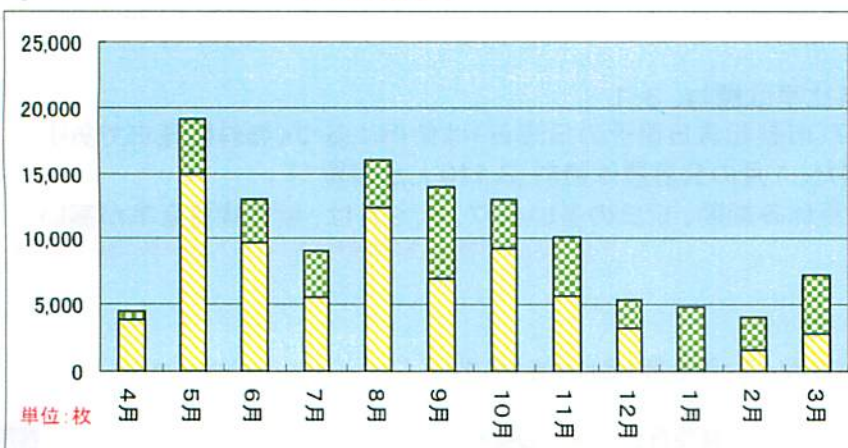
①有料チケット比率〔企画展・所蔵品展比率〕(通年度)



【傾向と分析】

- i. 全体では、
企画展:所蔵品展≒6.3:3.7
の割合
- ii. 月毎にばらつきが出る理由は、企画展の展示替期間の違いによるもの
- iii. 企画展チケット比率が高いことが、観覧料収入が予測よりも伸びている一因となっていると思われる
- iv. 滞在時間に限りのある団体等においては所蔵品展のみの観覧となる傾向が強いが、概ね、企画展とセットで観覧いただくケースが多いことがわかる

②有料チケット件数(月別推移)

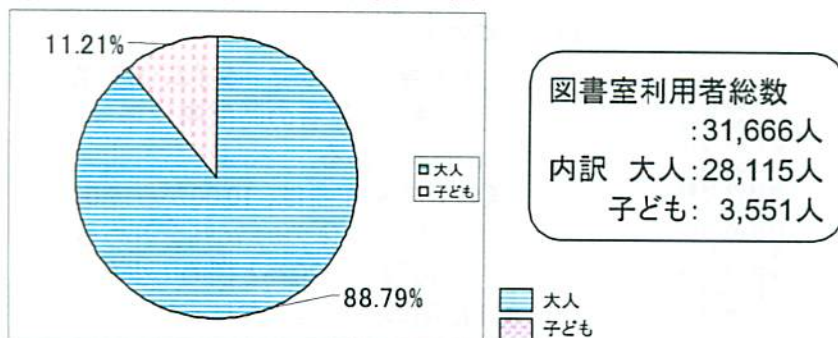


【注】グラフは、前売券・年間パスポート券を除く有料チケット件数で算出

10

Ⅲ-1 図書室利用状況

① 図書室利用状況(通年度比率)

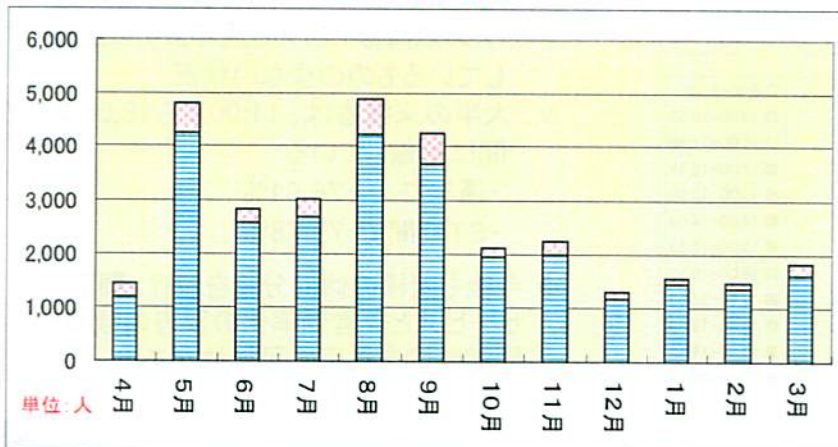


【傾向と分析】

- i. 図書室利用者は、圧倒的に大人の利用者が多い
- ii. 理由は、子どもは、夏休み等の休日以外の利用が難しいためと思われる
- iii. 月別人数推移の傾向は、7頁の来館者・観覧者推移との相関関係が強い

* 図書室は自由に利用できるため、「大人、子ども」の別は係員の目で判断している

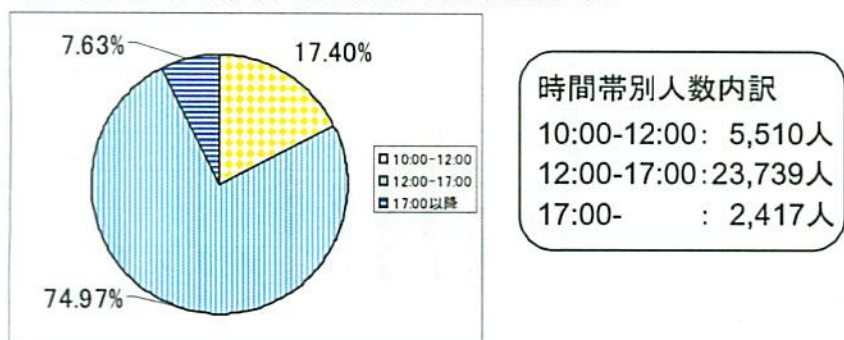
② 図書室利用状況(月別人数推移)



11

Ⅲ-2 図書室時間帯別利用状況

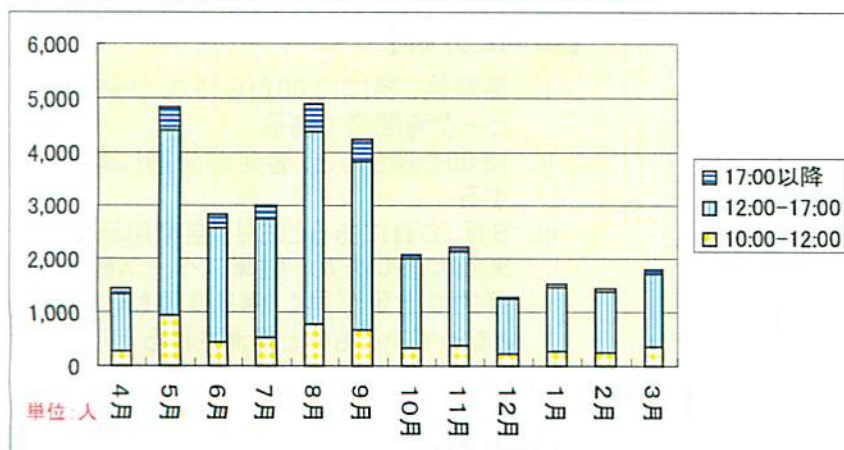
① 図書室時間帯別利用状況(通年度比率)



【傾向】

- i. 図書室利用者は、圧倒的に日中午後の利用者が多い
- ii. 月別人数推移の傾向として、サマータイム期間(6月～9月)期間では17:00以降の利用者が若干存在するが、10月以降の17:00時以降の利用者数は全体の1.42%にとどまっている
- iii. 館全体の時間帯別来館者数の状況は13、14頁を参照

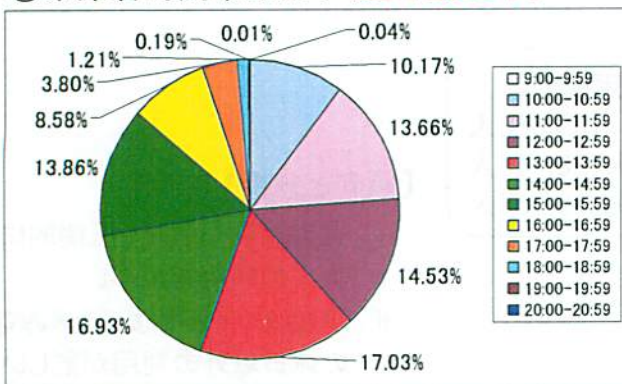
② 図書室時間帯別利用状況(月別人数推移)



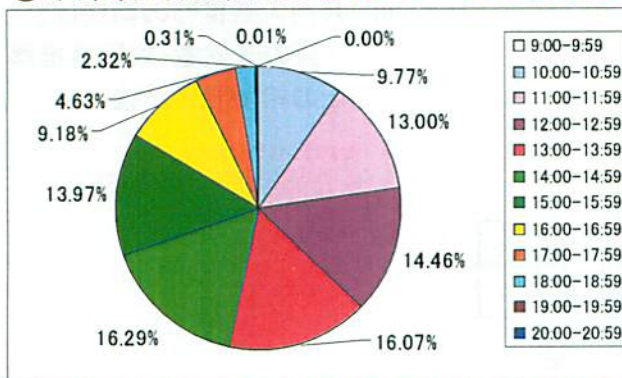
12

Ⅲ-3 来館者の時間帯別比率

①来館者時間帯別比率(通年度比率)



②来館者時間帯別比率(サマータイム時比率)



* サマータイム(ST)はGW期間と6月から9月末までの期間であるが、当該集計にはGWは含めていない。6月から9月で集計。

【傾向と分析】

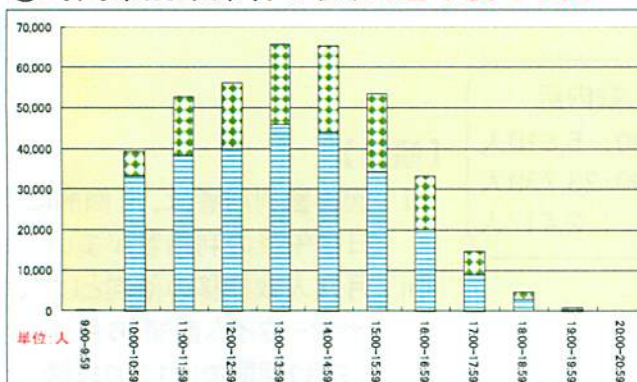
- 通年で見て、サマータイム(ST)期間でも、来館者の時間帯比率はほぼ同じ傾向である
- 通年での来館者は、10:00から17:00までの間で全体の94.76%を占める
17:00以降は5.20%と極めて少ない
- ST期間の来館者における10:00から17:00の占める率は92.73%であり、通年と比較して、ほぼ変化が無い状況
17:00以降は7.26%と通年よりは微増しているものの少ない状況
- 大半の来館者は、11:00から16:00までの間に来館している
・通年で : 76.01%
・ST期間で : 73.78%

◆ 今後も同様の傾向分析を続け、顧客サービスと運営効率化の双方の観点から開館時間を見直す可能性がある

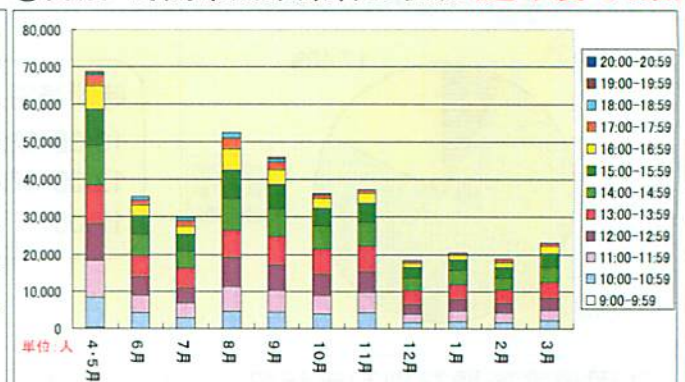
13

Ⅲ-4 時間帯別来館者数の状況

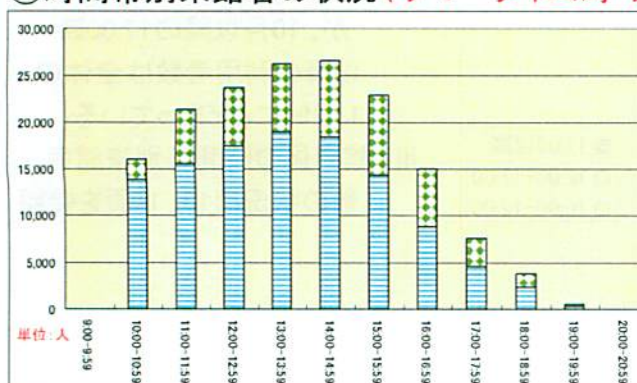
①時間帯別来館者の状況(通年度・人数)



③月別・時間帯別来館者の状況(通年度・人数)



②時間帯別来館者の状況(サマータイム時・人数)



【傾向と分析】

- 昼前後、特に13:00から15:00が来館のピーク時間帯である
- 16:00を過ぎると、客足が急速に減少する
- 5頁、6頁にあるとおり、自家用車での来館が多いため、駐車スペース確保の目的で出足が早く、帰り時間も早い傾向となっているものと推測される

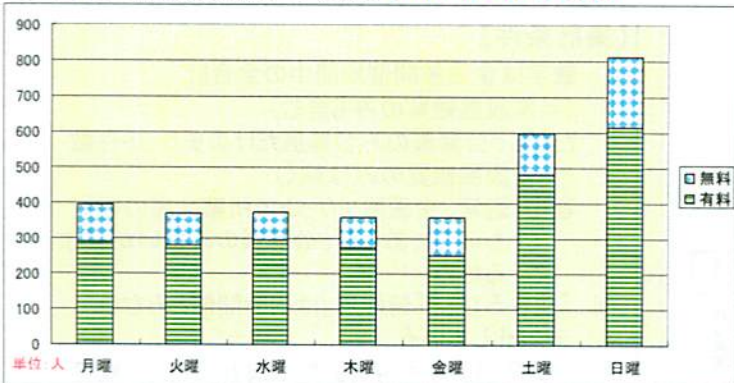
■ ペントハウス(屋上)
■ メインエントランス

* サマータイムはGW期間と6月から9月末までの期間であるが、当該集計にはGWは含めていない

14

Ⅲ-5 曜日別観覧者数等の状況(1日平均)

①曜日別観覧者数の状況(1日平均・人数)



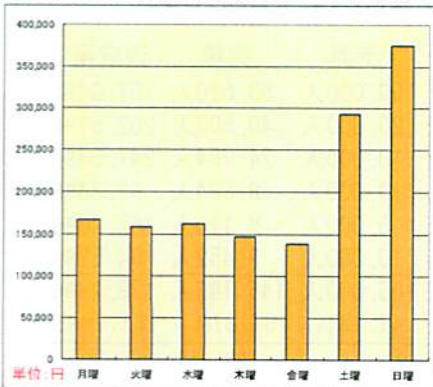
【傾向と分析】

- i. 観覧者数・来館者数ともに日曜日が最も多い(他の曜日の2倍強)
- ii. 土曜日は他の曜日の1.5倍程度
- iii. 観覧料収入においても同様の傾向
- ◆サマータイム期間の土曜日に開館時間延長を実施しているが、再考の必要性が認められる傾向を示している

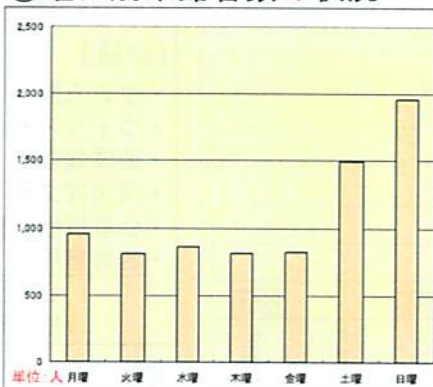
【集計条件】

- i. 特異日である、GW、文化の日、市制記念日(計11日)を除く通年合計を曜日別に集計
 - ii. 曜日ごとの1日平均
 - iii. 集計期間中の休館日を除く各曜日数
- | | |
|-----|-----|
| 月曜日 | 36回 |
| 火曜日 | 46回 |
| 水曜日 | 46回 |
| 木曜日 | 46回 |
| 金曜日 | 47回 |
| 土曜日 | 44回 |
| 日曜日 | 46回 |

②曜日別観覧料収入の状況



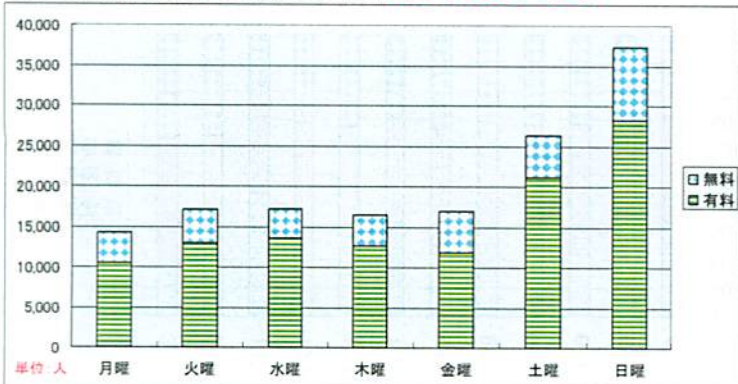
③曜日別来館者数の状況



15

Ⅲ-6 曜日別観覧者数等の状況(通年度)

①曜日別観覧者数の状況(通年度・人数)



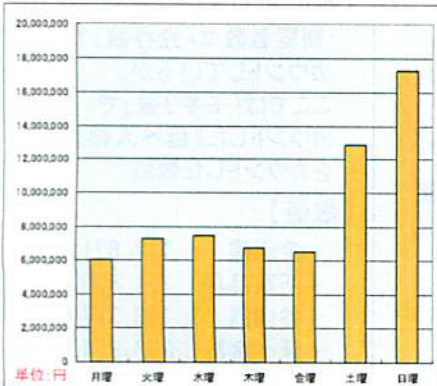
【傾向】

- i. 通年でみても、1日平均の場合と同傾向は同じと言える
- ii. 月曜日のみ、休館日があるため通年集計では数値が下がる
- iii. 土・日曜日以外は、ほぼ同じ数値

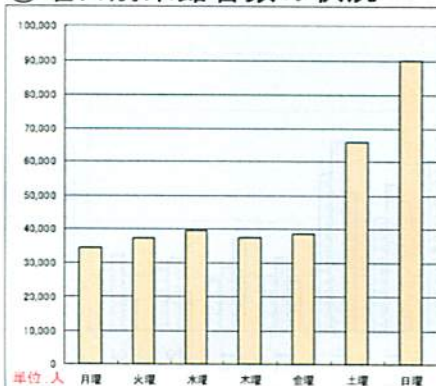
【天候別分析について】

天候に左右される傾向があるとの推測に基づき傾向を分析したが、季節及び曜日による要因が強く、単独での分析要因とはならなかった。

②曜日別観覧料収入の状況



③曜日別来館者数の状況



【集計条件】

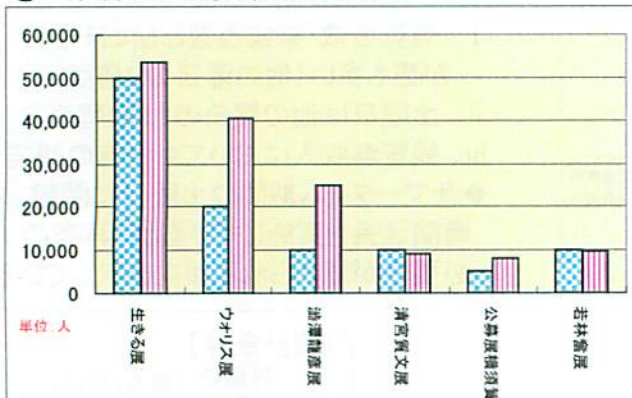
特異日である、GW、文化の日、市制記念日(計11日)を除く通年合計

* 月曜日に関しては、『月の第一月曜日』が休館日のため、他の曜日よりも日数が少ない=件数・額ともに、他の曜日より少ない

16

Ⅲ-7 企画展別観覧者数・目標達成率等の状況

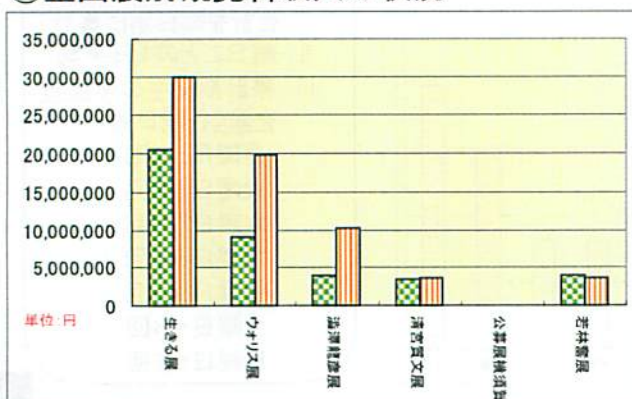
①企画展別観覧者数の状況



【集計条件】

- 数字は企画展開催期間中の全合計
(=常設展観覧のみも含む)
ただし、公募展のみ公募展だけのチケット件数
(=常設展観覧のみは除く)
理由: 通常、企画展チケットで所蔵品展の観覧も可能であるが、公募展のみ扱いが異なるため
- 「生きる」展と「俯瞰展」は同時開催とみなし、一本化している
- 公募展期間中も所蔵品展は有料のため、観覧料収入は発生しているが、公募展は無料のため、目標値・実績値ともにゼロとして集計

②企画展別観覧料収入の状況



【数値】

	予測	実績	達成率
・生きる展	50,000人	53,520人	107.04%
・ウォリス展	20,000人	40,502人	202.51%
・辻澤龍彦展	10,000人	24,784人	247.84%
・清宮質文展	10,000人	8,824人	88.24%
・公募展横須賀	5,000人	8,110人	162.20%
・若林奮展	10,000人	9,452人	94.52%
合計	105,000人	145,192人	138.28%
観覧料	41,131千円	67,370千円	163.79%

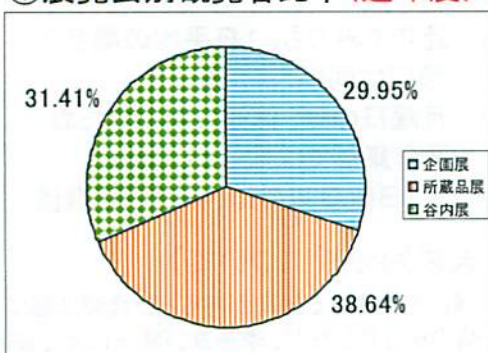
* 詳細は、67,369,720円

■ 目標値
■ 実績値

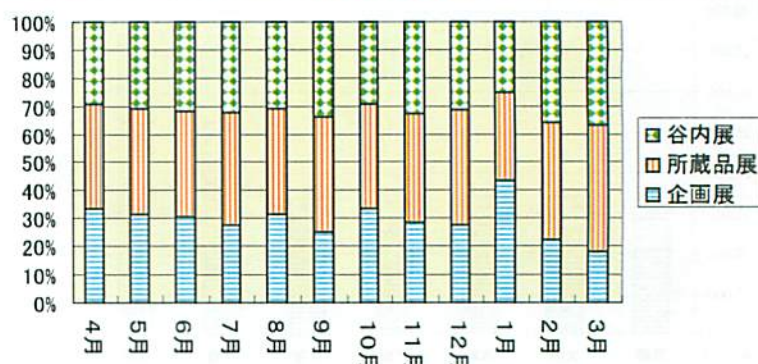
17

Ⅲ-8 展覧会観覧者の延べ人数での集計

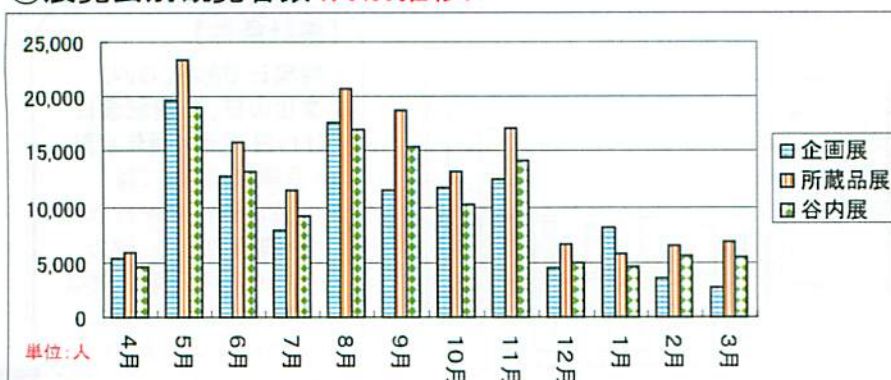
①展覧会別観覧者比率(通年度)



②展覧会別観覧者比率(月別推移)



③展覧会別観覧者数(月別推移)



【集計条件】

- 観覧者数は「発券数」でカウントしているが、ここでは「モグリ数」でカウントした『延べ人数』をカウントした数値

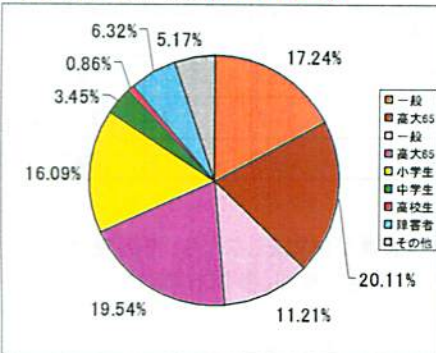
【数値】

- ・企画展 : 117,671人
- ・所蔵品展 : 151,806人
- ・谷内展 : 123,377人
- ・延べ合計 : 392,854人

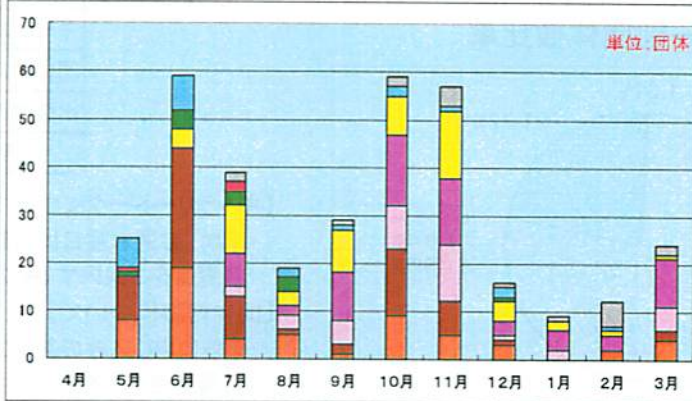
18

Ⅲ- 9 団体の状況

①団体数内訳(通年度)



②団体数内訳(月別推移)

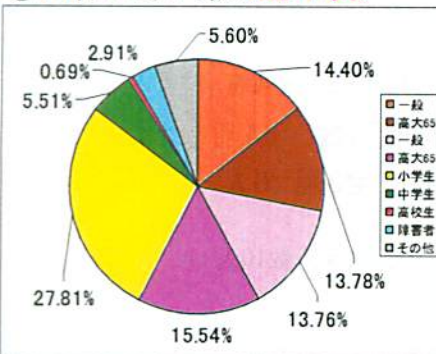


【数値】

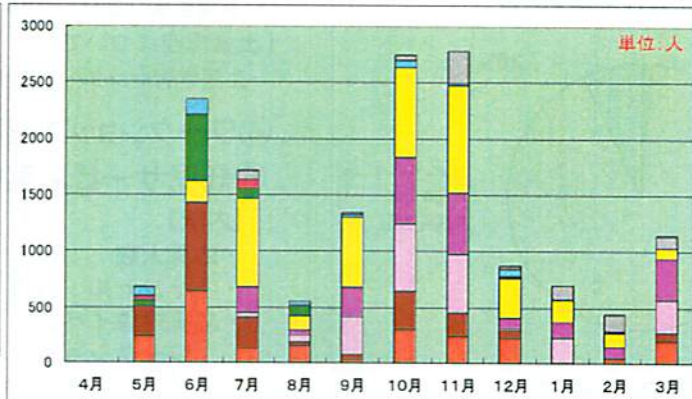
- i. 全団体数: 348団体
- ii. 有料団体数: 237団体
- iii. 無料団体数: 111団体
- iv. 全団休人数: 15,315人
- v. 有料団休人数: 8,803人
- vi. 無料団休人数: 6,512人



③団体人数内訳(通年度)



④団体人数内訳(月別推移)



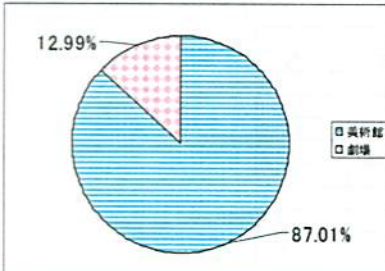
【傾向】

- i. 団体属性は、季節により異なる
- ii. 大型連休等のない、気候が穏やかな時期に団体が多い
- iii. 小学生と高齢者の団体が多い

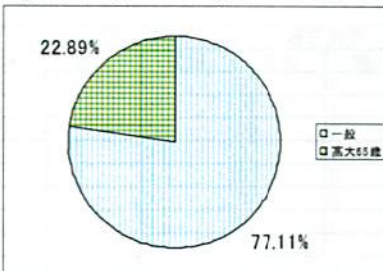
19

Ⅲ- 10 パスポート券・前売券の状況

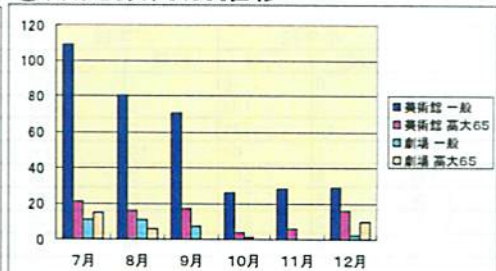
①販売場所内訳



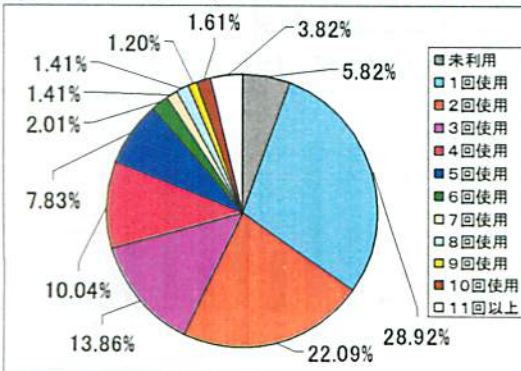
②販売種別内訳



③販売数月別推移



④利用回数内訳



【パスポート傾向】

- i. 2回以上利用率: 65.26%
- ii. 同伴者数: 334人
- ・158人が平均2.11人を同伴

*H19年度適用パスポート券販売期間: H19.7.1~H19.12.16 同前売券販売期間: H19.7.1~H20.2.15

【パスポート券利用回数等】

- ・総枚数: 498枚
- 内、美術館発行枚数: 435枚
- 内、劇場発行枚数: 63枚
- ・利用回数
- 未利用: 29枚
- 1回使用: 144枚
- 2回使用: 110枚
- 3回使用: 69枚
- 4回使用: 50枚
- 5回使用: 39枚
- 6回使用: 10枚
- 7回使用: 7枚
- 8回使用: 7枚
- 9回使用: 6枚
- 10回使用: 8枚
- 11回使用: 4枚
- 12回使用: 0枚
- 13回使用: 0枚
- 14回使用: 2枚
- 15回使用: 8枚
- 16回使用: 2枚
- 17回使用: 2枚
- 65回使用: 1枚
- ・平均利用回数: 3.19回(未利用含む)

【前売券数値】

- ・総枚数: 199枚
- 内、美術館取扱: 109枚
- (一般: 98枚 高大65: 11枚)
- 内、劇場取扱: 90枚
- (一般: 71枚 高大65: 19枚)

【傾向】

- i. 販売場所内訳
- 美術館: 54.77%
- 劇場: 45.23%
- ii. 販売種別内訳
- 一般: 84.92%
- 高大65: 15.08%

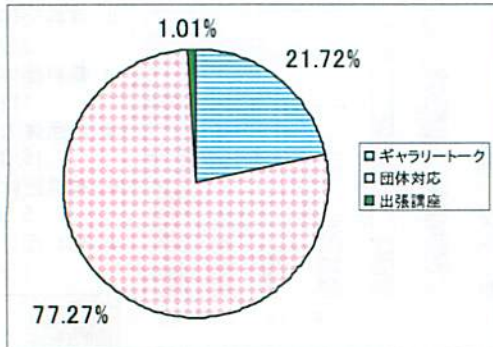
※H20年度適用パスポート券・前売券を3月より販売開始したが、当該集計には含めない(ただし繰入はH19年度)

20

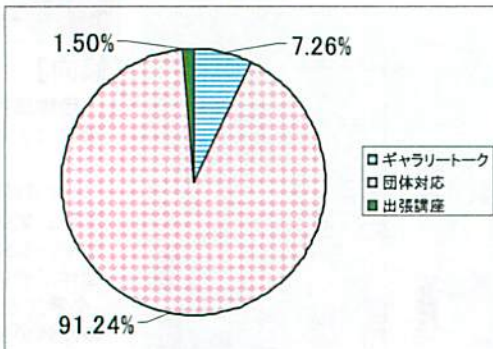
IV-1 教育普及事業の状況(団体対応等)

①団体対応実績：全198団体 5,011人 ➡【内訳】

②メニュー別団体数比率



③メニュー別人数比率



※詳細は『別冊3』参照

メニュー	回数	人数	平均人数
ギャラリートーク	43	364	8.47
団体対応	153	4,572	29.88
出張講座	2	75	37.50
合計	198	5,011	25.31

【ギャラリートークについて】

・原則、毎週木曜日に当館学芸員が解説をしながら、その時々
の展覧会をご案内するもの(当日自由参加、参加料無料)

【団体対応について】

・事前に申し込みのあった団体を対象に、当館学芸員が、その時々
の展覧会をご案内するもの
・絵画サークルや、バスツアー、ボランティア体験ツアーなど
多種多様な団体に対応

【出張講座について】

・生涯学習センターにおける市民講座等を実施

④ワークショップ室利用回数：44回

⑤託児サービス実績：全3回 6人

【内訳】

・応募人数：16人(内、決定人数10人*)

*上限10人

・キャンセル：4人

・応募対象イベント

ワークショップ2回、展覧会3回

(内、1回は全員キャンセル、1回は応募なしのため未実施)

21

IV-2 教育普及事業の状況(学校連携)

①学校連携実績：全77校*1 4,876人

※詳細は『別冊3』参照

月	小学校		中学校		養護学校		市外中学校		月計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
5月	0	0	1	59	0	0	0	0	1	59
6月	3	189	5	644	1	16	0	0	9	849
7月	10	771	0	0	1	60	1	28	12	859
8月	1	68	19	237	0	0	0	0	20	305
9月	8	567	0	0	0	0	0	0	8	567
10月	8	771	0	0	0	0	0	0	8	771
11月	13	897	0	0	0	0	0	0	13	897
12月	4	357	0	0	0	0	0	0	4	357
1月	1	83	0	0	0	0	0	0	1	83
2月	1	129	0	0	0	0	0	0	1	129
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	49	3,832	25	940	2	76	1	28	77	4,876

【参加人数内訳】

・児童、生徒数：4,616人

・引率教諭数：260人

【内容について】

・小学校：

鑑賞教材学習を使つての
鑑賞と作品解説

・中学校：

作品解説

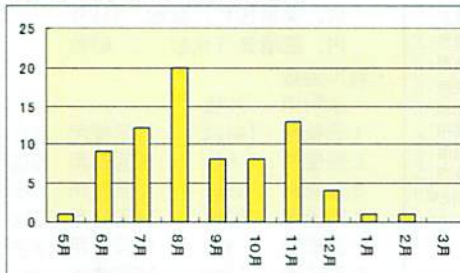
・その他：

社会科見学や対話鑑賞など

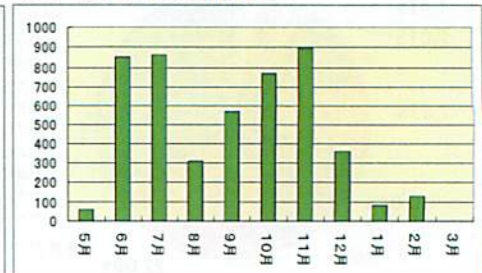
・養護学校：

作品解説及び缶バッジ制作

②学校数(月別推移)



③人数(月別推移)



【市内小中学校のみの数値】

・延べ74校 4,772人

児童、生徒数：4,541人

引率教諭数：231人

【参加方法(枠組み)】

・小学校：美術鑑賞教室

・中学校：中学生のための
美術鑑賞教室

・その他：個別申し込み

【講師】

・当館学芸員が教員の協力を
を得て行う

*1：校数は延べ数(複数回参加している学校がある)

22

IV-3 教育普及事業の状況(ワークショップ)

①開催実績：全41回*1 2,215人

【内訳】

種別	回数	人数
アーティストトーク	5	292
講演会	10	446
対談	2	65
パフォーマンス	2	750
展示解説	1	25
映画上映会	1	31
ワークショップ	20	606
合計	41	2,215

【ワークショップ(WS)について】
・展覧会関連WSと、展覧会には関わらないWSの2つに大別される

【種別について】

・座学形式のものが講演会等
・体験型のものがWS
・パフォーマンスは音楽や、ショー的な要素を含む内容

【上記内訳の詳細】

属性	種別	回数	人数
展覧会 関連	アーティストトーク	5	292
	講演会A	7	340
	対談	2	65
	パフォーマンスA	1	683
	展示解説	1	25
	映画上映会	1	31
	ワークショップA	3	70
展覧会 以外	ワークショップB	17	536
	講演会B	3	106
	パフォーマンスB	1	67
		41	2,215

【参加方法】

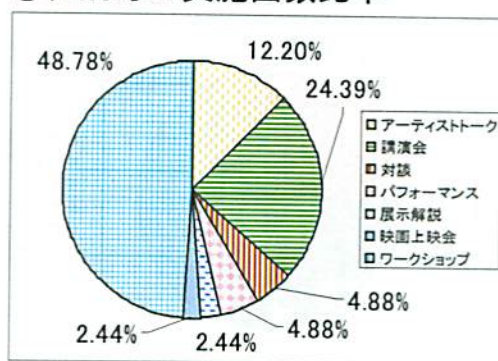
・事前申し込みが基本
・広報紙やホームページ、チラシ等による事前告知

【講師等について】

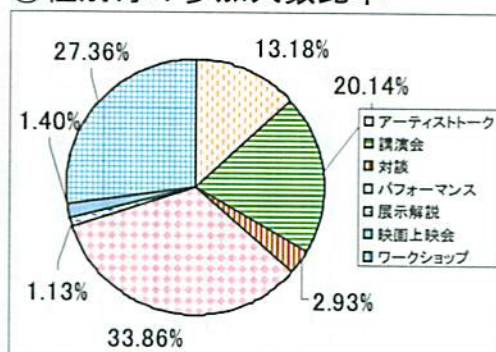
・基本的に、専門家に委託して実施
・当館学芸員は補助

※詳細は『別冊3』参照

②種別毎の実施回数比率



③種別毎の参加人数比率



④ワークショップ室利用回数：39回

*1:ワークショップ後にパフォーマンスを実施したケースが1回あり、パフォーマンスとして集計

23

来館者アンケート集計結果

- アンケートは開館の4/28から継続的に実施。
- アンケートは企画展ごとに設問を若干修正したが、基本的事項においては、継続性を保てる(比較検証が可能となる)よう配慮。
一部集計項目については、年度途中から追加された項目も存在する。
- アンケート記入・回収場所は、生きる展開催中は、本館1階常設展出入り口1箇所に設置。ウォリス展開催(7/28)以降は、駐車場棟入口1箇所を増設し、計2箇所とした。
- 当該集計は、数値化が可能な項目についての集計を中心に実施している。
- アンケートは、来館者・観覧者のどちらのお客様でも記述可能であるが、便宜上、次頁以降のタイトルを「来館者」で統一する。

【基本数値】(以下、各集計毎に基本数値等を記載している)

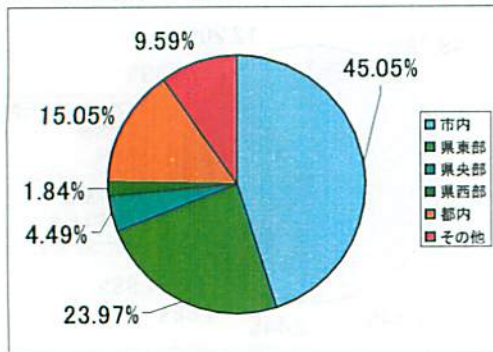
- 回収アンケート数:4,180件(ただし、設問によっては、年度途中からの項目もあり、件数が少ない場合がある)
- アンケート実施期間(当該集計対象期間):H19.4.28~H20.3.31
- 12月(12/1から12/16の間)と3月には、学芸員が直接聞き取りをしながらアンケートを記入
* 聞き取りのため、附帯施設等の一部項目を削除するなどしている(お客様のご迷惑を極小化するための方策)

* 回収アンケートは、回答内容が多岐に渡る場合等、集計の都合上、1件を複写して処理したことがある。
ただし、その場合においても、数値集計においては、複数カウントとならぬような処理を施している。

24

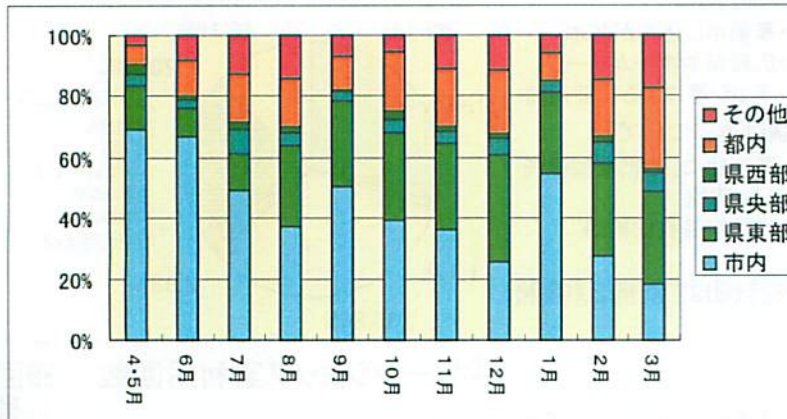
V-1 来館者の居住地

① 来館者の居住地の内訳(通年度)【傾向と分析】



- i. 市内からの来館者は全体の45.05%
市外からの来館者は全体の54.95%
- ii. 開館当初は、市内からが約69%、市外からは約31%
- iii. 開館後、徐々に市外からの来館者が増加する傾向が出ている
- iv. 8月においては、市内からが37.54%、市外からが62.46%となっており、旅行シーズン(夏休み)であるためと思われる
[特に、12、2、3月は、市外からの来館者率が高い]
- v. 10月以降は、市外者率が過半数を占める傾向が示されており、周知策が浸透しつつあるものと思われる(市外での認知度が確実に上昇している)

② 来館者の居住地の月別推移



※1月は公募展開催の影響により、市内からの来館者率が上がっている

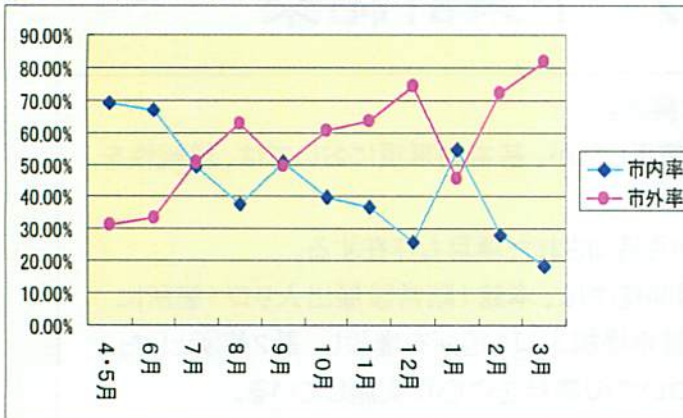
【基礎数値】

- i. アンケート総数 : 4,180件
- ii. 回答総数 : 3,316件
- iii. 回答率 : 79.33%
- iv. 市内総数 : 1,494件
- v. 市外総数 : 1,822件

25

V-2 交流都市推進に関する推計

① 月別市内・市外比率(推移)



【分析】

- i. 下記【推計】は来館者・観覧者数実績に市外者率を乗じた数値
- ii. 来館者ベースで約21万人強、観覧者ベースで約9万人強の交流人口数があったと推測できる
- iii. 来館者に関しては、経済部所管の「観音崎公園来園者数」と重複する可能性が高いが、観覧者数においては、新規顧客率が高いものと推測する

【推計】

a. 交流人口数推計(年度)

- ・年間来館者数(386,175人)
× 市外者率(54.95%) ≒ 212,203人
- ・年間観覧者数(165,961人)
× 市外者率(54.95%) ≒ 91,196人

※ aとbの数字の違い:

aは全体数値に年度の率を乗じた数値
bは、各月の数値に、各月の率を乗じた数値の合計数値
年度後半の方が率は高いが、人数が小さいため、年度での算出値の方が大きくなる

b. 月別交流人口推計

月	来館者ベース	観覧者ベース
4・5月	21,282	9,287
6月	11,728	5,308
7月	15,161	6,496
8月	32,787	13,346
9月	22,652	9,701
10月	21,810	9,544
11月	23,690	11,302
12月	13,512	5,305
1月	9,211	4,259
2月	13,447	4,989
3月	18,799	7,332
計	204,079	86,871

【その他地域の内容】

回答総数 : 176件
国内27道府県よりのご来館
〔内訳〕

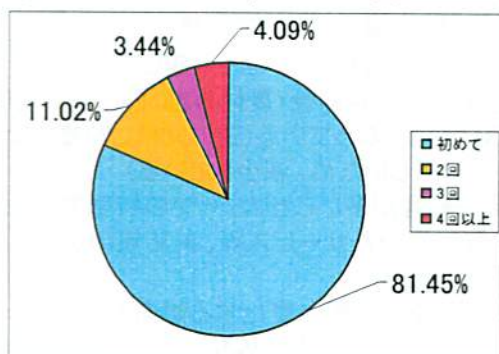
北海道	9件	5.11%
東北	8件	4.55%
関東*	85件	48.30%
東海	16件	9.09%
中部	13件	7.39%
近畿	24件	13.64%
中国	4件	2.27%
四国	5件	2.84%
九州・沖縄	12件	6.82%

* 東京・神奈川県を除く

26

V-3 来館回数・リピート率等の状況

①来館回数の内訳(通年度)

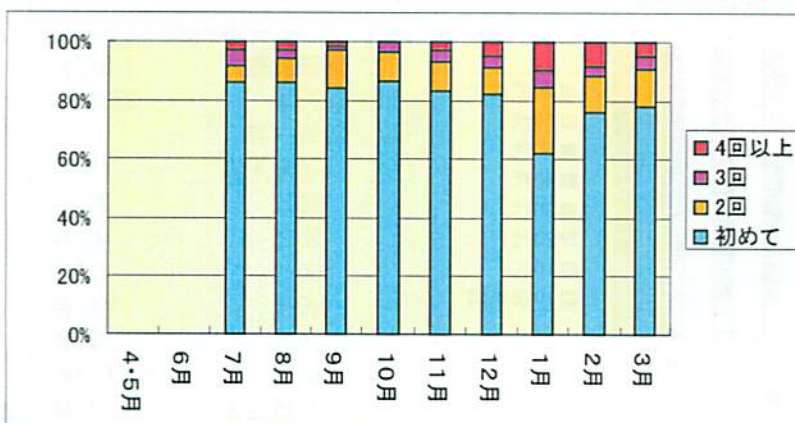


【傾向】

- i. 初めての来館者は全体の 81.45%
 - 2回目の来館者は全体の 11.02%
 - 3回目の来館者は全体の 3.44%
 - 4回以上の来館者は全体の 4.09%
 - ii. 2回以上の来館者(リピーター)は全体の18.55%
 - iii. 月別推移を見ると、1月に大きく変化が生じている
- ※ アンケートは、開館以来、継続的に実施しているため、初回来館者が2回目来館の際にも回答している可能性があり、当該項目は、あくまで参考数値である

◆ 開館当初から7/27までの間は、「再来館意向」を設問としていたが、実際のリピート率を見ることが分析の方が実効性が高いため、「再来館意向」の分析は省略する

②来館回数の月別推移



【基礎数値】

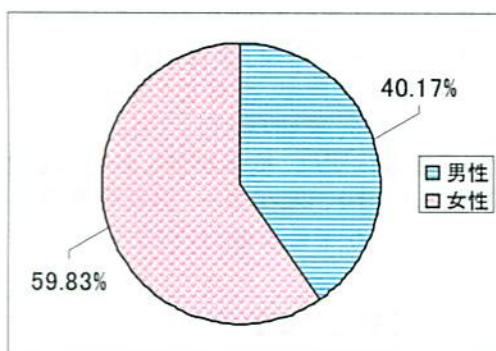
- i. アンケート総数 : 2,637件
- ii. 回答総数 : 2,151件
- iii. 回答率 : 81.57%
- iv. 回答内容
 - 初めて : 1,752件
 - 2回 : 237件
 - 3回 : 74件
 - 4回以上 : 88件

* 当該設問は、7/28からの開始

27

V-4 来館者の属性(性別)

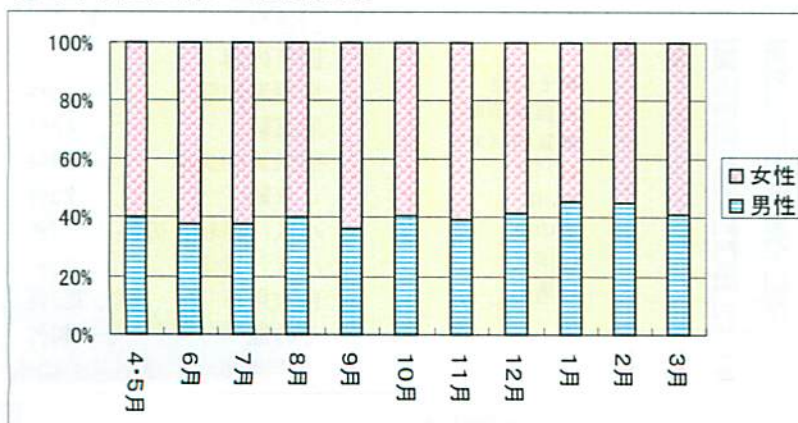
①来館者の性別(通年度)



【傾向と分析】

- i. 男性の来館者は全体の 40.17%
- 女性の来館者は全体の 59.83%
- ii. 女性客の割合は、男性客の約1.5倍
- iii. 月別推移を見ても、概ね同じ比率で推移している
- iv. 女性客が多いことは、文化施設の一つの特徴であり、女性客を念頭に置いたサービス等の対応策の実施・工夫が重要との認識

②来館者性別の月別推移



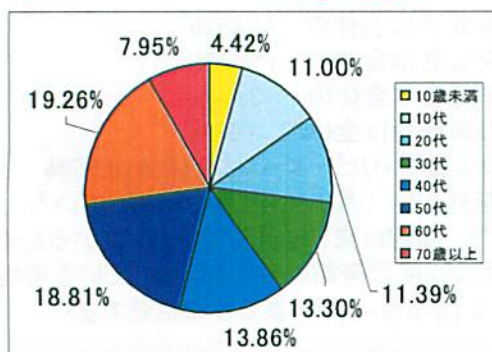
【基礎数値】

- i. アンケート総数 : 4,180件
- ii. 回答総数 : 2,940件
- iii. 回答率 : 70.33%
- iv. 回答内容
 - 男性 : 1,181件
 - 女性 : 1,759件

28

V-5 来館者の属性(年齢層)

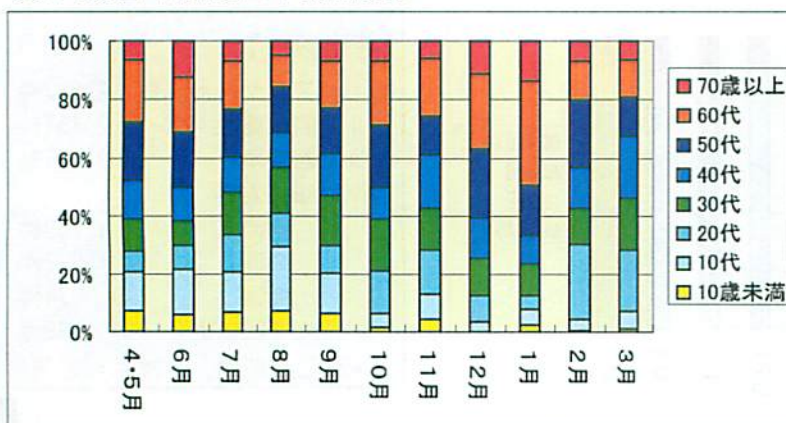
①来館者の年齢層(通年度)



【傾向と分析】

- 1番多い世代は、60歳代、次いで50歳代
- 全世代にわたり、概ねバランスよく来館している
- 月別推移を見ると、8月前後(夏休み期間)においては10代の来館者が多くなっている(逆に60代、70歳以上は、気象条件が厳しいため、減少している)
- 年齢層の高い顧客が多いことは、一つの特徴であり、高齢客を念頭に置いたサービス等、対応策の実施、工夫が重要との認識
- 季節により顧客の年齢層が変化する傾向もあり、このことも、ふまえておく必要がある

②来館者年齢層の月別推移



【基礎数値】

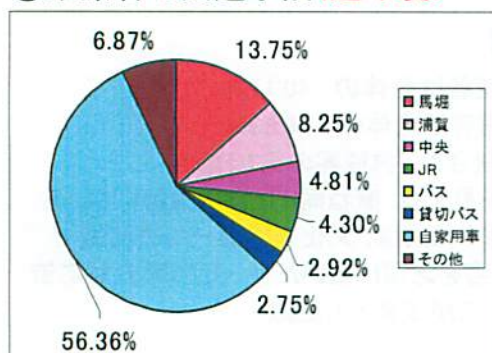
- アンケート総数 : 4,180件
- 回答総数 : 3,572件
- 回答率 : 85.45%
- 回答内容

10歳未満	: 158件
10代	: 393件
20代	: 407件
30代	: 475件
40代	: 495件
50代	: 672件
60代	: 688件
70歳以上	: 284件

29

V-6 来館者の交通手段

①来館者の交通手段(通年度)



【傾向】

- 自家用車利用が、全体の56.36%
- 京急線+バス・タクシー利用が、全体の26.81%
- JR線+バス・タクシー利用が、全体の4.30%
- 路線バスのみは2.92%、貸切バスは2.75%
- その他6.87%の主な内訳は、徒歩が最も多く、次いで船(猿島・観音崎ルート)、レンタカー、自転車等の順

※ 9/18からのデータ取得のため、春先・夏場におけるデータ取得の必要があるとの認識

【基礎数値】

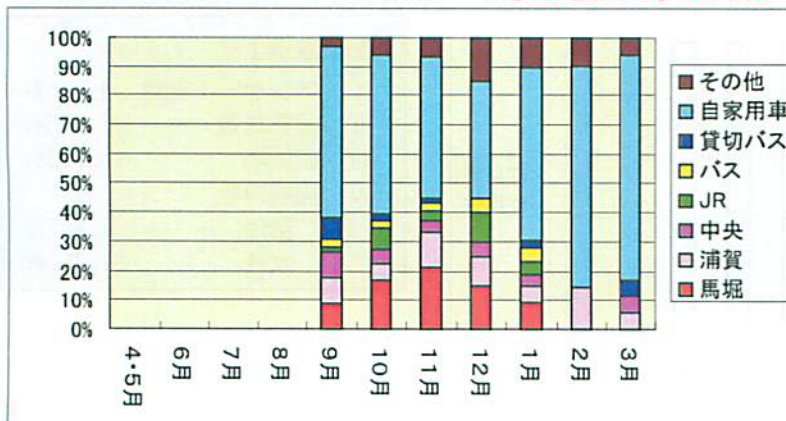
- アンケート総数 : 787件
- 回答総数 : 582件
- 回答率 : 73.95%
- 回答内容

馬堀海岸駅	: 80件
浦賀駅	: 48件
横須賀中央駅	: 28件
JR線	: 25件
バス(路線)のみ	: 17件
バス(貸切)	: 16件
自家用車	: 328件
その他	: 40件

* 当該設問は、9/18からの開始

②来館者交通手段の月別推移

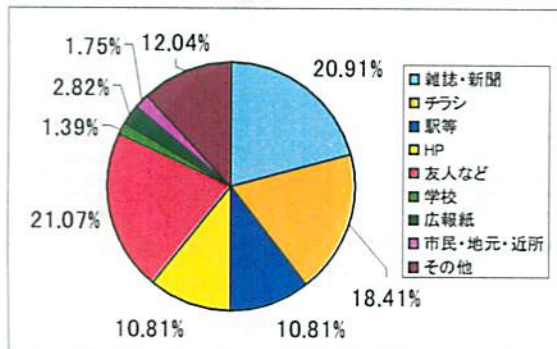
※電車の場合は「+」バスかタクシー



30

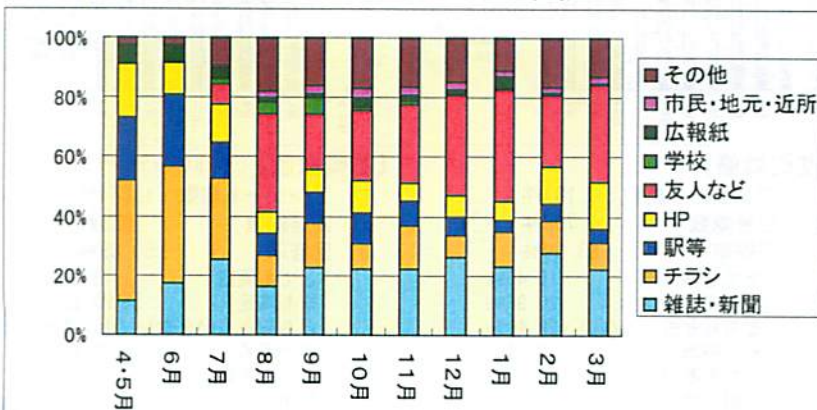
V-7 来館者の美術館認知手段(広報媒体)

①来館者の美術館認知手段(通年度) 【傾向】



- 「友人など」(ロコミ)が全体の21.07%とトップ、次いで、雑誌・新聞が20.91%
- チラシは、全体の18.41%であるが、8月以降、急速に率が低下
- 逆に、8月以降、急速に「ロコミ」率(友人など)が上昇
- その他(12.04%)の内訳の主なものは次のとおり
・テレビがその他の約57%、通りがかりが約20%
他美術館のポスターが約5%、ネット関連が約3%

②来館者の美術館認知手段の月別推移



【基礎数値】

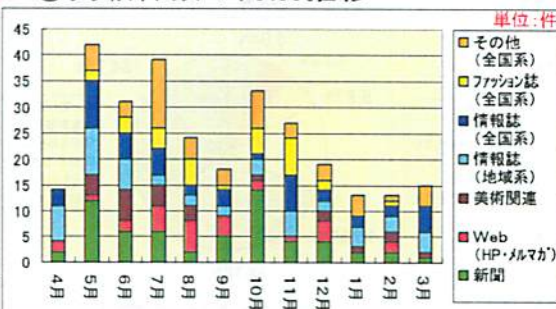
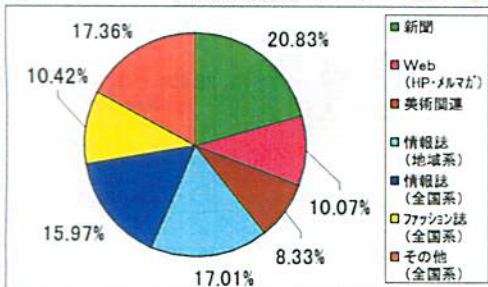
- アンケート総数 : 4,180件
- 回答総数 : 3,090件
- 回答率 : 73.92%
- 回答内容
雑誌・新聞 : 646件
チラシ : 569件
駅等 : 334件
ホームページ : 334件
友人など : 651件
学校 : 43件
広報紙 : 87件
市民・地元・近所 : 54件
その他 : 372件

*回答候補数を、7/28から増設

31

V-8 取材等による広報実績

①取材等の媒体属性比率(通年度) ②掲載件数の月別推移

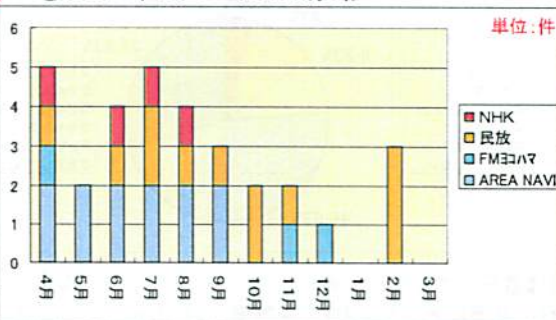
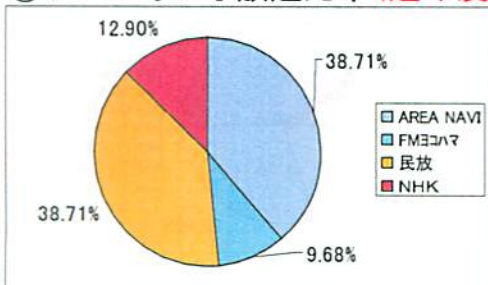


【基礎数値】

〔取材等〕

- 総数 : 288件
新聞 : 60件
Web : 29件
雑誌 : 199件
美術関連 : 24件
情報誌 (地域系) : 49件
情報誌 (全国系) : 46件
ファッション誌 (全国系) : 30件
その他 (全国系) : 50件

③テレビ・ラジオ放送比率(通年度) ④放送件数の月別推移



〔放送〕

- 総数 : 31件
ラジオ(広告扱) : 12件
ラジオ : 3件
テレビ(民放) : 12件
テレビ(NHK) : 4件

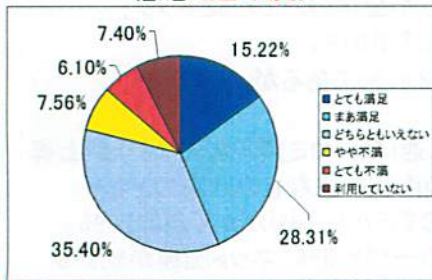
- 「AREA NAVI」は、4月から9月まで、月2回、全12回を広告料で委託し放送したもの
- その他はすべて「取材」のため、経費は要していない
- 上記以外に、40件の行政財産目的外使用許可による撮影(主にファッション撮影:カタログCM等)があり、歳入合計は、380,000円となっている(40件中4件は取材等にカウントされている)

32

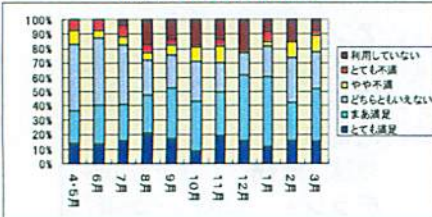
V-9 附帯施設の感想

【ミュージアムショップ】

感想(通年度)



感想(月別推移)

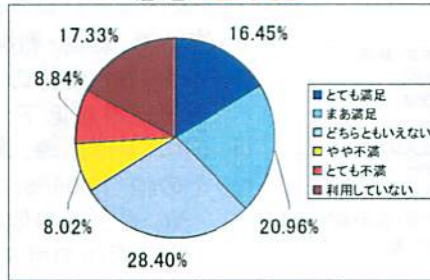


【基礎数値】

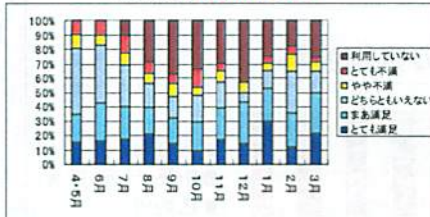
- i. アンケート総数 : 3,187件
 - ii. 回答総数 : 1,918件
 - iii. 回答率 : 60.18%
- | 感想 | 割合 |
|-----------|--------|
| とても満足 | 15.22% |
| まあ満足 | 28.31% |
| どちらともいえない | 35.40% |
| やや不満 | 7.56% |
| とても不満 | 6.10% |
| 利用していない | 7.40% |

【レストラン】

感想(通年度)



感想(月別推移)

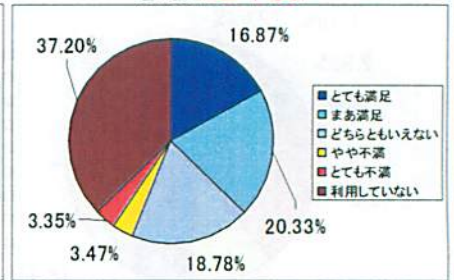


【基礎数値】

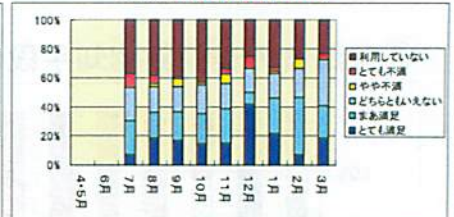
- i. アンケート総数 : 3,187件
 - ii. 回答総数 : 1,708件
 - iii. 回答率 : 53.59%
- | 感想 | 割合 |
|-----------|--------|
| とても満足 | 16.45% |
| まあ満足 | 20.96% |
| どちらともいえない | 28.40% |
| やや不満 | 8.02% |
| とても不満 | 8.84% |
| 利用していない | 17.33% |

【図書室】

感想(通年度)



感想(月別推移)



【基礎数値】(7/28からデータ取得)

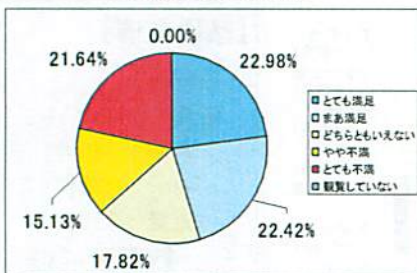
- i. アンケート総数 : 1,644件
 - ii. 回答総数 : 836件
 - iii. 回答率 : 50.85%
- | 感想 | 割合 |
|-----------|--------|
| とても満足 | 16.87% |
| まあ満足 | 20.33% |
| どちらともいえない | 18.78% |
| やや不満 | 3.47% |
| とても不満 | 3.35% |
| 利用していない | 37.20% |

* 上記3施設とも、12月、2月、3月の一部ではデータ未取得(理由:直接聞き取りを実施し、設問を簡素化したため)

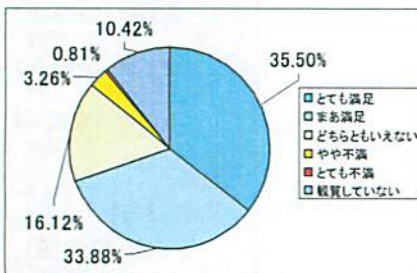
33

V-10 企画展の感想

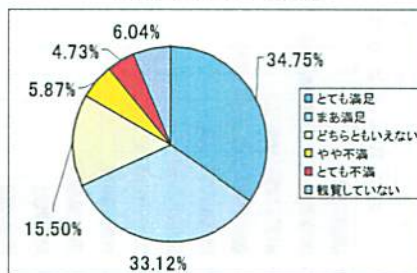
①【生きる展】



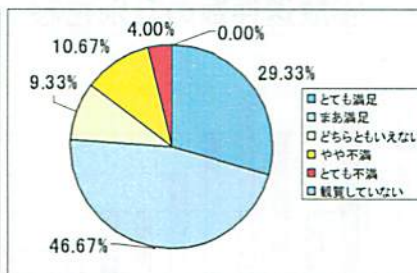
④【清宮展】



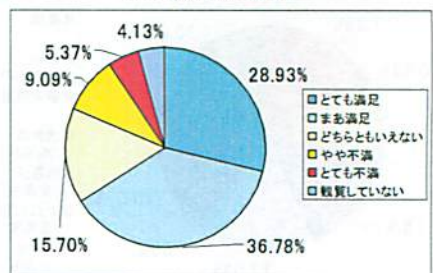
②【ウォリス展】



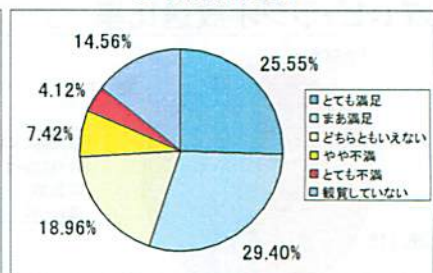
⑤【公募展】



③【湊澤展】



⑥【若林展】



【基礎数値】アンケート数は展覧会ごとに異なる

- ①アンケート総数 : 1,490件 回答総数 : 1,414件 回答率 : 94.90%
- ②アンケート総数 : 857件 回答総数 : 613件 回答率 : 71.53%
- ③アンケート総数 : 363件 回答総数 : 242件 回答率 : 66.67%
- ④アンケート総数 : 668件 回答総数 : 614件 回答率 : 91.92%
- ⑤アンケート総数 : 125件 回答総数 : 75件 回答率 : 60.00%
- ⑥アンケート総数 : 386件 回答総数 : 364件 回答率 : 94.30%

【傾向】

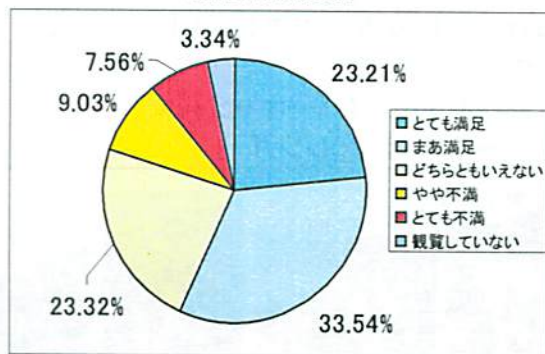
- i. 「生きる」展以外の傾向は、ほぼ同じ
- ii. 「観覧していない」回答がないのは、公募展のみで、観覧が無料であったためと思われる
- iii. 「やや不満」が10%を超えたのは、生きる展と公募展
- iv. 「とても不満」が10%を超えたのは、生きる展のみ
- v. 詳細は、『別冊2』参照

* : 12月と3月は、学芸員による聞き取り形式でアンケートを実施したため、回答率が高い

34

V-11 所蔵品展の感想

【所蔵品展】



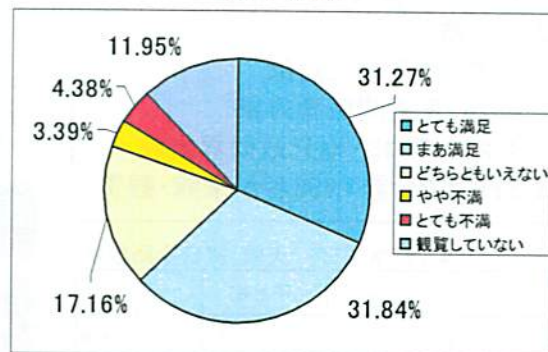
【基礎数値】

- i. アンケート総数 : 4,180件
- ii. 回答総数 : 3,533件
- iii. 回答率 : 84.52%

【傾向】

- i. 谷内展の傾向は、前頁②のウォリス展に近く、作品の印象が似ているためと思われる「不満」傾向は小さく、安定した人気を得ていることが裏付けられている
- ii. 所蔵品展の傾向は、他に似たものはないが、「不満」傾向を減少させるための工夫の必要があり、その余地もあるとの認識
- iii. 詳細は『別冊2』参照

【谷内展】



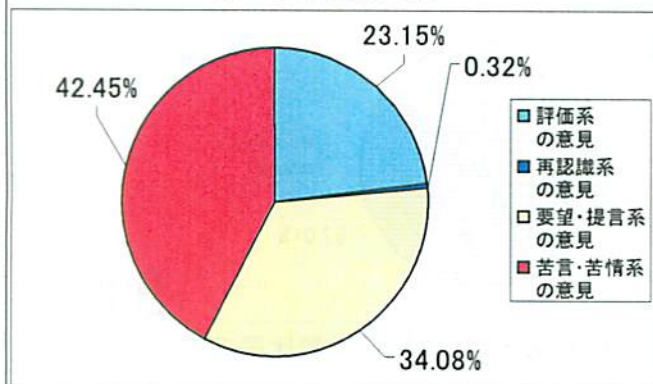
【基礎数値】

- i. アンケート総数 : 4,180件
- ii. 回答総数 : 3,012件
- iii. 回答率 : 72.06%

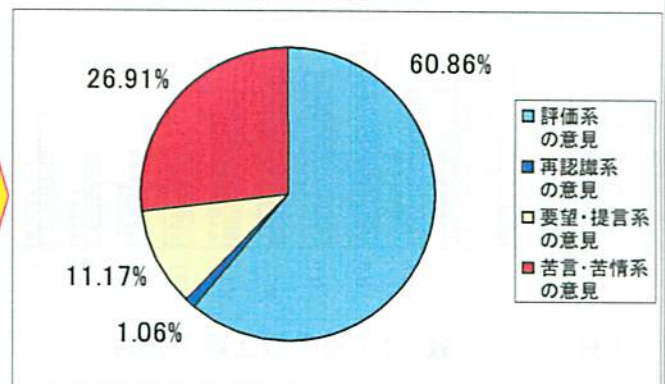
35

V-12 その他(アンケート自由記載欄の傾向)

【H19年度前半】



【H19年度後半】



(1) 年度前半の各系列ごとの割合

- ①評価系+再認識系の意見が、全体の 23.47%
- ②要望・提言系の意見は、 34.08%
- ③苦言・苦情系の意見は、 42.45%

(2) 年度後半の各系列ごとの割合

- ①評価系+再認識系の意見が、全体の 61.92%
- ②要望・提言系の意見は、 11.17%
- ③苦言・苦情系の意見は、 26.91%

(3) 各系列ごとの割合の変化

- ①評価系+再認識系の意見 : 23.47% → 61.92% ... +38.45ポイント
- ②要望・提言系の意見 : 34.08% → 11.17% ... △22.91ポイント
- ③苦言・苦情系の意見 : 42.45% → 26.91% ... △15.54ポイント

【集計方法】

自由記載のため、カテゴリ(属性)を20に分類し、20のカテゴリを『評価系意見(再認識系を含む)』と『苦言・苦情系意見』『要望・提言系意見』の3つ(再認識系を入れると4つ)の系列に分けて集計

※詳細は『別冊2』参照

36

【参考】開館前内覧会・オープン式典等の状況

①開館前内覧会は3日間実施

②対象者等

- ・4/25:地元市民対象
- ・4/26:美術関係者対象
- ・4/27マスコミ・地元政財界対象

③3日間で合計1,656名が来館・観覧

4/25(水曜日) 天候:終日小雨模様

	大人	子ども	計
人数	704	152	856

4/26(木曜日) 天候:晴れ時々曇り

	式典時	最終	計
人数	462	538	538

4/27(金曜日) 天候:終日晴天

受付種別	11:00~12:30	単位
マスコミ一般 (情報誌・タウン誌等)	55	社
受付種別	式典時	単位
地元マスコミ	18	名 (11社)
政財界	189	名
計	262	名

①オープン式典:開館日のテープカット

- ・浦賀中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏

②開館記念イベント

- ・4/28~4/30:ガリバーキャンパス
- ・5/ 1~5/ 6:顔😊レンガ

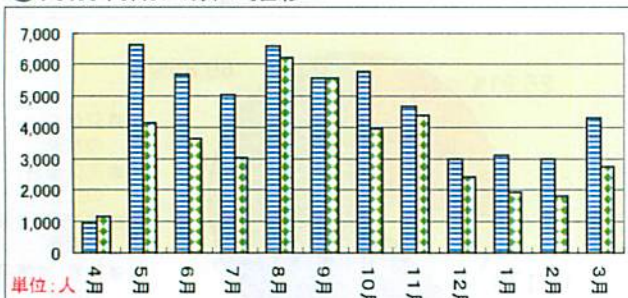


*開館前内覧会参加者数は、年間観覧者等の集計には加えていない

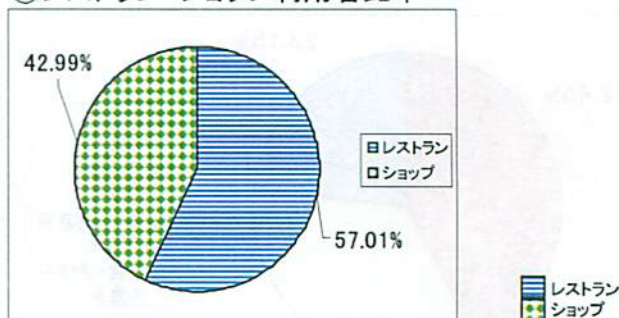
37

【参考】レストラン・ショップの利用状況

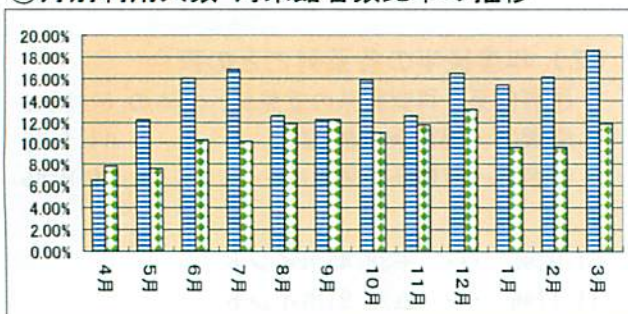
①月別利用人数の推移



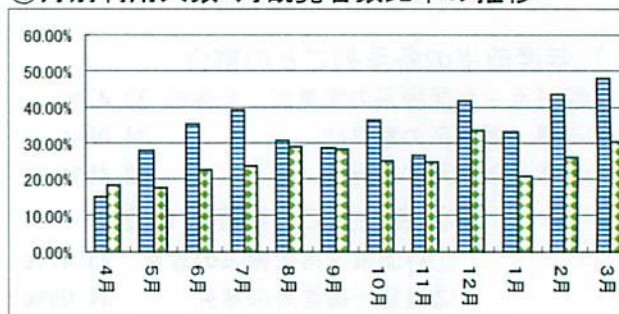
②レストラン・ショップ利用者比率



③月別利用人数・対来館者数比率の推移



④月別利用人数・対観覧者数比率の推移



【基礎数値】 通年利用者数 レストラン:54,251人 ショップ:40,914人

レストラン	ショップ	レストラン	ショップ	レストラン	ショップ	レストラン	ショップ
4月: 935人	1,128人	7月: 5,017人	3,033人	10月: 5,757人	3,978人	1月: 3,126人	1,944人
5月: 6,621人	4,127人	8月: 6,576人	6,202人	11月: 4,686人	4,376人	2月: 3,006人	1,794人
6月: 5,682人	3,638人	9月: 5,571人	5,564人	12月: 2,991人	2,401人	3月: 4,283人	2,729人

38

今後とも、以下を継続的に実施することで、市民に愛され、より親しまれ、ご活用いただくことのできる美術館を目指してまいります。

- 1 アンケート等の継続的实施により、市民(お客様)の声を美術館運営に反映させるべく活動してまいります。
- 2 各種統計数値を、館の効率的運営や更なるサービス向上に役立てるべく活動してまいります。
- 3 今後も、定期的な情報開示*を実施してまいります。

* 項目の内容や属性により、集計期間等が異なりますので、開示する時期により、開示項目や詳細度が異なります



横須賀美術館屋上より
帆船パレードを望む
(H19. 5. 12)

横須賀美術館 YOKOSUKA MUSEUM OF ART

〒239-0813
横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館
TEL.046-845-1211
FAX.046-845-1215
教育委員会 美術館 美術館運営課
url:<http://www.yokosuka-moa.jp/>

